

- 国は、令和4年10月時点の診療・検査医療機関等数及び平成29年度のインフルエンザ検査数実績(近年の最大件数)をもとに、都道府県ごとに配布上限数を計算。
- 都道府県は、国に対して、配布上限数の範囲内で必要PPE量を要望し、管内の診療・検査医療機関に対して配分する。

## 最大必要見込量を計算する上での前提

診療・検査医療機関及び地域外来・検査センターの施設数	全国で計約4.1万箇所(令和4年10月時点)
診療・検査の体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1施設当たり、医師1名、看護師2名、事務員等3名で対応</li> <li>・全施設が土日祝含め毎日対応と仮定</li> </ul>
検査件数	平成29年度のインフルエンザ検査数と同等の検査数と仮定 全国で計約3000万回

### 【診療・検査場面での使用数の想定】

- 医師、看護師については、
  - ・サージカルマスク：1日に1人1枚
  - ・N95等マスク：1日に1人1枚
  - ・ガウン：1日に1人2枚
  - ・フェイスシールド：1日に1人1枚
  - ・手袋：検査1件につき1人1双(毎回交換)
- 事務員については、
  - ・サージカルマスクを1日に1人1枚